

中央委員会を代表してのあいさつ(レジメ)

幹部会委員長 志位 和夫

いかにして東アジアを戦争の心配のない平和な地域にしていくか

- ・ASEANの最新の到達点——平和をつくる多くの英知が
- ・日本共産党の「外交ビジョン」への評価——二つの発展方向について
- ・憲法9条をもつ日本こそが、北東アジアで“対話の習慣”をつくる先頭に

日本の政治の行き詰まりを、どうやって打開していくか

- ・腐敗政治、経済無策、戦争国家、人権後進国——自民党政治の全体が末期的状況
- ・どうやって日本の前途を開くか——二つの大きなカギ

党建設の歴史的教訓と大局的展望について

- ・およそ10年にわたって新入党員の「空白の期間」ともいうべき時期が
- ・中央の党建設の指導上の重大な弱点と、今後の党建設に生かすべき最大の教訓
- ・党勢を長期の後退から前進に転じる歴史的チャンスの時期

大会決議案が明らかにした社会主義・共産主義論の意義について

- ・「人間の自由」こそ、マルクス、エンゲルスが一貫して求め続けたもの
- ・国民の疑問や関心から出発して、未来社会論を語るうえで、最も合理的な組み立て
- ・党建設を後退から前進に転じるうえで、決定的な力を発揮する